

パクパクの操作について

パクパクはゴミ箱感覚で生ごみが投入できます。複雑な操作は必要ありません。



写真一 投入口開放状態

①投入口を開きます。



写真一 生ごみ投入風景

②生ごみを投入します。



写真一 投入口閉状態

③投入口を閉めます。

処理品取り出しについて

1週間に1回取り出し作業を行います。自動排出機構で簡単に取り出しできます。



①処理品がきちんと乾燥しているかどうかを確認。

写真一 乾燥時の槽内



②停止ボタンを押し、取出し口を開けます。

写真一 停止ボタン



③取出しボタンを押します。

写真一 取出しボタン（旧タイプ操作ボタン）



④処理品が排出されます。

取扱いは容易で、保存性も高くなっています。
処理品排出をする際に 30～40%程度の処理品を槽内に残します

残した処理品は、次回発酵の際の種菌となり、追加の資材や菌の投入は不要となります。

写真一 処理品排出状態